

仕様及び御使用条件

測定方法:	最高温度 $\geq 1,200^{\circ}\text{C}$ 酸素検出器付き
測定範囲:	0 - 200,000 mg/l 用途に合わせて変更可能
タイムラグ:	1分
再生性:	$\pm 3\%$ of MBE or ± 10 mg/l
サンプル収集方法:	メンテナンスフリーのフローサンプリング オプション Ultra-Turrax (均質化したサンプル用)

操作及びデータ出力

表示用-LCDスクリーン, 高解像度, バックライト
自動起動機能
自動説明ソフトウェア
パソコンへの標準データ出力

サンプル水と電源の接続

取水/排水:	チューブ 内径 30 mm (フローサンプリング) 接続径 DN 25
サンプル水の取水:	チューブ 4.8 x 1.6 mm (内径 x 外径)
電源:	100V, 50 / 60 Hz
アナログ出力:	0/4-20 mA; ライブポート機能可能
シリアルインターフェース:	RS 232 (遠隔操作用)
状況出力:	4 リレーコンタクト
遠隔操作:	TCP/IP プロトコル (インターネット経由)

寸法、重量

キャビネット:	スチール製 IP 54
オプション:	ステンレス製, IP 65, ATEX zone 1 and 2
寸法:	1060 x 700 x 520 mm (H x W x D)
重量:	115 kg

この資料に記載されている外観、サービス、寸法、重量、測定、メンテナンス時間等の情報及び記述は変更の可能性があり、概算値でありますことを御了承願います。
09-10-02

オンライン TNb計, TP計, COD計, BOD計, 毒性測定計等に関するお問い合わせも承ります。



オンラインCOD測定のご提案

QuickCOD[®]_0

連続、短時間の
COD分析計

- 試薬を使わずに2-5分間で正確なCODの測定が可能
- 排水処理プラント、プロセスコントロールに最適
- 正確、早い、フィルター不要

• オンラインCOD測定 of 最適な御提案

QuickCOD[®] oは化学的酸素要求量 (COD) を測定する為のオンライン分析計です。特別な燃焼方式を用いて2分間での測定が可能です。

QuickCOD[®] oは排水処理プラントにおけるほとんど全てのCOD測定に最適です。オンライン測定 of 代表例としては排水処理プラントにおける監視や化学プラント、石油化学プラント、食品工場、その他の設備におけるピーク値 of 検出や製造阻みの分析に役立っています。

• 高温燃焼方式

サンプル水に銀や水銀を加えて硫酸クロムによって熱せられる従来の方式と違って、QuickCOD[®] oは高温燃焼方式を採用しています。廃棄物を出さずに、速く測定できることに加えて、サンプル水中 of 全ての有機物の検出が可能です。この方式はASTM of 規格に準拠しており、アメリカでは良く知られています。LAR of 高温燃焼方式(≥1,200°C)は他の方式よりも優れています。

- 腐食性 of ある試薬が不要です。
- 有害物質 of 廃棄が不要です。

この高温燃焼方式は危険で腐食性 of ある物質が不要ですので、測定による残留物 of 処理、清掃、有害な試薬は不要です。安全で簡単な操作性をお約束します。

• 速くて正確な測定結果

QuickCOD[®] oは断続的に働く分析計として設計されています。2分間でのCOD値 of 測定が可能です。この速い測定方法は一時的な測定値 of ピークも検出することができます。

• サンプル水 of 収集方法

サンプル水はメンテナンスフリー of サンプルリングシステムであるフローサンプラー (特許品) を用いて収集します。フローサンプラーはフィルター不要で、流れ方向に逆らってサンプル水 of 流れの中心部よりサンプル水を抽出します。(図1を御参照下さい。)

固体の粒子もフローサンプラーにて収集することが出来、ホジナイザーにより大きさを減少することが出来ます。サンプル水はホジナイザーによってサンプルセルに運ばれます。

このサンプルセルの中でサンプル水は均質化する様に連続的にかき混ぜられます。

• メンテナンスフリー of サンプルリングシステム フローサンプラー

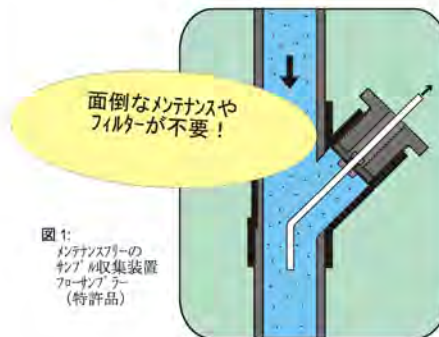


図1: メンテナンスフリー of サンプル収集装置 フローサンプラー (特許品)

• 高温燃焼方式によるCOD値 of 正確な測定が可能

• オプション of ホジナイザーを用いた固体化合物 of 測定が可能

• 難しいアプリケーション (塩分濃度 of 高い、溶解性 of ある等) にも対応可能

• 複数チャンネル of 測定が可能 (オプション)

• 操作が簡単



• 信頼性 of 高い、試薬を使わない燃焼酸化方式

• 高価な触媒が不要

• 98%以上 of 機械効率 (少メンテナンス)

• 正確なCOD値 of 測定が可能

• 1台でTN_o, TOC, COD of 測定が可能 (オプション)

• ランニングコスト、メンテナンスコストが安価

• 低コストで信頼性 of ある原理

サンプル水はインテグレートド サンプルポンプ もしくはホジナイザー (オプション) を通じて測定装置に行きます。サンプル of 投入は隔膜不要 of インジェクションシステムによって行われます。

燃焼炉への直接 of 投入はサンプル中 of 揮発性 of 高い成分 (VOC) of 流出を防ぎます。QuickCOD[®] oはメタノール、エタノール、その他揮発性 of 高い成分 of 正確な検出も可能としております。

1, 200°C以上 of 燃焼によりQuickCOD[®] oはサンプル中 of 全ての成分を酸化させます。酸化途中 of 酸素消費量は特別な検出器によって測定されます。TOC値を測定し相関数値によって換算する他の機器と違いQuickCOD[®] oは正確なCOD値を測定することができます。この方法により、サンプルが変化するアプリケーションにおいてもQuickCOD[®] oは高い信頼性を発揮できます。

燃焼後に全ての酸化ガスはガスクーラー内部で4°Cに冷却され、吸収装置によって酸素検出器に送られます。

オプションでQuickCOD[®] oにTOC値 of 検出 of 為 of IR検出器やTN_o of 測定 of 為 of センサーを付けることが出来ます。LAR of QuickCOD[®] oはこれら全ての重要なパラメーターをオンラインで連続的に測定できる世界で唯一 of 分析計です。

使いやすいソフトウェアは機器 of 調整からデータ出力までそれぞれの有効な機能を快適にサポートします。測定結果はインターフェイスを通して簡単に送ることが可能です。

これら全て of 特徴によりQuickCOD[®] oは簡単な操作性、少メンテナンスで長寿命、短時間での測定を可能としました。